

神戸市 異常高温対策事業

～地方公共団体における効果的な熱中症対策の
推進に係るモデル事業～

【成果報告会】

【神戸市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(1)地域の課題

○地球温暖化による気温の上昇

- ・ 神戸の年平均気温は100 年あたり1.5℃の上昇傾向。
- ・ 2050 年の日最高気温帯におけるWBGT を推計した結果、0.6℃上昇すると予測。

○熱中症予防に関する熱中症搬送件数が増加傾向にある

- ・ 国内の他地域と同様、神戸市でも平均気温の上昇、暑熱環境の悪化が記録され、熱中症による搬送件数は増加傾向にある。さらに、今後温暖化の進行に伴い、さらなる気温上昇が予測されることから、熱中症を避けるためのハード面の整備だけでなく、市民の行動変容を促す対策が必要である。
- ・ 年齢別の救急搬送件数では、65 歳以上の高齢者の占める割合が多い（約 6 割）。
- ・ 地域別では、中央区など市街地の占める割合が多い。
- ・ 日最高WBGT が30℃を超えると救急搬送者数が急激に増加する傾向にある。

【神戸市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

(2)地域の特徴

○気候特性

- ・神戸市内の熱環境分布については、兵庫区から東灘区の湾岸エリアにおいて、夏季の暑さが日中・夜間共に特に厳しい。一方、北区から西区の東側は夜間気温が低い。このような熱環境分布が形成される理由として、標高や風況といった地形的特徴だけでなく、都心部における建築物の高層化、建て詰まりによる天空率の狭小化、地表面被覆など、都市形態に起因するヒートアイランド現象も一因と考えられる。
- ・本市では、2050年の暑熱環境の予測として、2020年と比較して8月の日最高WBGTが0.6℃上昇すると推計しており、今後十分な対策をとらなければ、熱中症による搬送者数がさらに増加すると予測している。

○熱中症の発症傾向

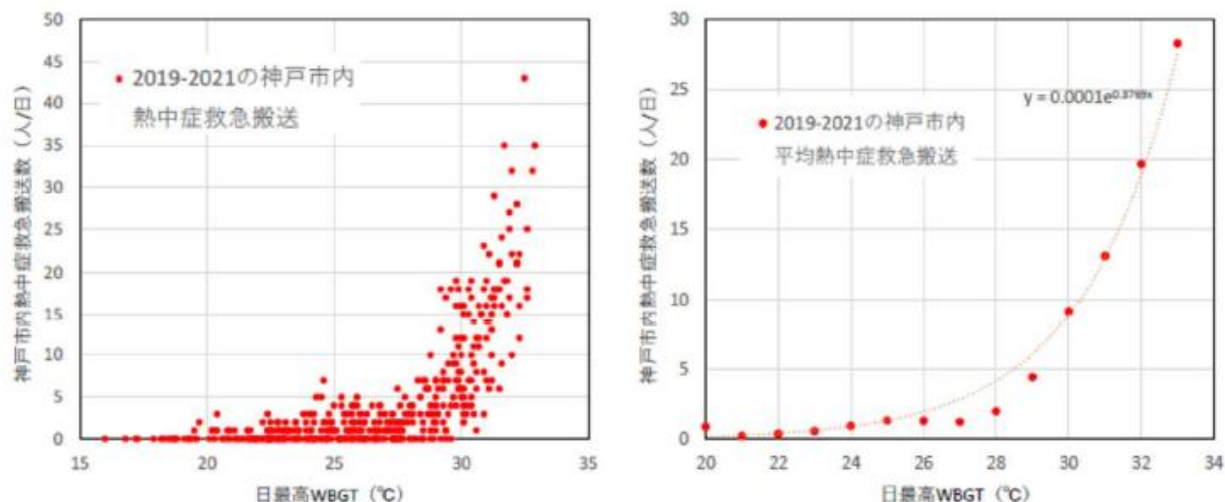
- ・2019～2021年の熱中症救急搬送者数は計2,044人であり、そのうち65歳以上の高齢者が1,191人と全体の約6割を占めていることから、高齢者をターゲットとした熱中症対策が求められている。
- ・また、区ごとの熱中症救急搬送者数を比較すると2019～2021年の人口1万人あたりの件数は中央区が多いことから、中央区を中心に熱中症対策のモデル事業を展開する。

【神戸市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

神戸市内の熱中症救急搬送者数（人）※（2019～2021年合計）

神戸市 全区	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
2044	284	169	256	177	241	170	202	256	289

（※神戸市外から搬送された方が2名含まれているが、市内の近隣区に含めて集計している。）



神戸市内の日最高WBGTと熱中症救急搬送者の関係

（WBGTは環境省熱中症予防情報サイトのデータ、熱中症救急搬送者数は神戸市消防局のデータを使用。）

【神戸市】 1. 地域における熱中症対策の事業実施に当たって(現状認識)

神戸市における熱中症による救急搬送者数の推移

年度	年齢区分				傷病程度				合計
	6歳以下	7-17歳	18-64歳	65歳以上	死亡	重症	中等症	軽症	
2022	7	89	263	439	0	8	210	580	798
2021	4	61	180	303	0	3	128	417	548
2020	4	57	217	493	0	14	247	510	771
2019	7	62	261	395	0	4	220	501	725
2018	16	119	403	513	0	13	249	789	1051

10万人当たりの熱中症搬送者数（2018年～2022年の平均）

年齢区分	6歳以下	7-17歳	18-64歳	65歳以上
全国(参考)	9	67.4	34.2	102.8
神戸市	9.8	54.0	30.6	99.2

【神戸市】 2. モデル事業の取組概要

事業名：神戸市異常高温対策事業

取組概要

<必須項目>

- (1) 熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること
- (2) 高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること
- (3) 庁内における横断的連絡体制の整備に関すること
- (4) 「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について実行可能性を検討すること

<選択項目>

- (5) クーリングシェルの指定・開放に向けての試行に関すること
- (6) 熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等と協働した高齢者等への見守り、声かけ活動等の実施に関すること

<必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目>

■日傘の活用促進（環境局）

【神戸市】 2. モデル事業の取組概要

事業名：神戸市異常高温対策事業

事業に期待する効果と効果の指標（KPI）

○事業に期待する効果

施策の実施効果として、熱中症の搬送件数を減少させること。

⇒ 熱中症搬送者数は、前年度より増加。

熱中症救急搬送者数

年度	年齢区分				傷病程度				合計
	6歳以下	7-17歳	18-64歳	65歳以上	死亡	重症	中等症	軽症	
2023	7	72	277	562	0	9	221	688	918
2022	7	89	263	439	0	8	210	580	798
2021	4	61	180	303	0	3	128	417	548
2020	4	57	217	493	0	14	247	510	771
2019	7	62	261	395	0	4	220	501	725
2018	16	119	403	513	0	13	249	789	1051

【神戸市】 2. モデル事業の取組概要

事業名：神戸市異常高温対策事業

事業に期待する効果と効果の指標（KPI）

○効果の指標(KPI)

■ 暑熱対策ポータルサイトの構築・民間アプリとの連携（環境局）

- ・ 暑熱対策ポータルサイトのアクセス回数：市の熱中症対策HP の令和4年度（12 月末時点）のアクセス数17,800 回以上 ⇒6445回（2023年12月18日）

■ クーリングシェルトアの試行実施（環境局・健康局）

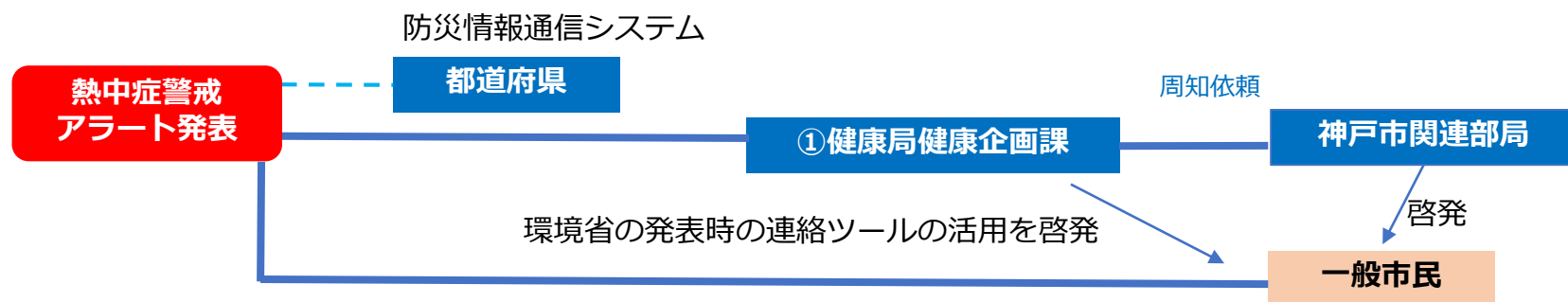
- ・ 公共施設のクーリングシェルトア利用者数：累計50 名以上（全4回） ⇒累計461名
- ・ 同イベント内のアンケートで「熱中症警戒アラート発表時にクーリングシェルトアを利用したい」と回答する割合を9割以上。⇒98%（n=225）

■ 日傘の活用促進（環境局）

- ・ 日傘の普及促進イベントの参加人数：累計100 名以上（全4回） ⇒累計216名
- ・ 同イベント内のアンケートで「今後日傘を使いたい」と回答する割合を、令和4年に日本気象協会が実施した日傘実証実験と同程度の9割以上。⇒82%（n=216）

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目1)熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること



番号	部局名	対応
①	健康局	・ 主要なタイミングで、神戸市関係部局へ、アラート発表について情報共有。 ・ 環境省の熱中症警戒アラート発表時の連絡ツールの活用を啓発。

(その他)
 教育委員会事務局
 毎年、学校現場等へ熱中症予防の対応指針等について提供している（熱中症警戒アラートについても紹介）

【熱中症警戒アラートの発表状況と体制における現状及び課題】

防災無線・緊急メール等については、兵庫県が運用している「ひょうご防災ネット」を利用しており、県が熱中症警戒アラートの情報を「ひょうご防災ネット」で伝達していないため、神戸市単独で整備することが難しい現状がある。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目1)熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること

■ 暑熱対策ポータルサイトの構築・民間アプリとの連携（環境局）

- ・ 神戸市のWEBサイト「スマートこうべ（<https://smartkobe-portal.com/>）」に「暑熱対策ポータルサイト」を構築し、市の取組の広報啓発と併せて、熱中症警戒アラートの認知度を向上させるための啓発を実施。
- ・ さらに、気象サービス事業者（株）ウェザーニューズ）のスマートフォンアプリ内に広告バナーリンクの掲載をし、暑熱対策ページへのアクセス数を向上させた。

暑熱対策WEBページ



天気予報アプリにおけるバナー広告



7～8月表示
約40万ipm

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目1)熱中症警戒アラート発表時に備えた対応を策定すること

- ・併せて、市内都心部におけるデジタルサイネージ、大型ビジョン等を活用した情報発信を行った。

■ 熱中症警戒アラート発表時の情報発信（健康局）

- ・環境省「熱中症予防情報サイト」やメール配信サービス、LINE 通知等の取組を、神戸市においても市民の利用につながるよう周知した。
- ・その他、庁内ネット掲示板等を活用し、各部局からも市民等へ情報発信を行った。

市民啓発用ちらし



【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目2)高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること

■ 様々な啓発媒体の展開（健康局）

- 市の広報紙で熱中症予防に関する特集記事を大々的に掲載した。

広報KOBE 7月号
掲載記事



- チラシやポスターを作成し、自治会や婦人会、ふれあいのまちづくり協議会、民生委員児童委員協議会等の各種関係機関を通じて、資料の配布や回覧を実施した。
- また、区役所やあんしんすこやかセンター、健康診断会場、市営バス・地下鉄、コンビニエンスストア、薬局等にも協力を仰ぎ、市民等の生活圏内で可能な限りの情報発信を行った。
- 市営地下鉄（三宮・新神戸・西神中央・西神南・学園都市）、ワクチン接種会場のデジタルサイネージにより啓発を実施。
- サンテレビ「KOBE 元気いきいき健康体操」の番組内で、熱中症予防の内容を放映。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目2)高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること

■ 様々な啓発媒体の展開

- 健康局、建設局、環境局の3局合同で異常高温・熱中症対策の記者発表を実施
(2023年7月12日)

熱中症に気を付けて！ 熱中症による救急搬送増加中

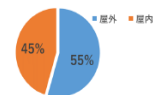
記者発表資料 (2023年7月12日)
健康局健康企画課

気象庁の発表によると、今夏は昨年より暑くなる見込みです。
熱中症は強い日差しや高温状態により、体温が上昇し、めまい、頭痛、吐き気、脱力感が生じ、意識障害等から命に関わる場合があります。
初め、熱帯夜の明けから夜にかけて、熱中症による救急搬送が増えています。
熱中症対策に早ずり取り組むことが大切です。

1. 意外と知らない熱中症の情報

1) 熱中症による搬送の約半数が屋内 (神戸市：2022年度集計)

- 室内は暑がりやすく、発見が遅いという場合があります。
- 熱中症の搬送者のうち、約半数は高齢者であり、特に注意が必要です。



搬送場所について

室内のうち 1位：自宅 (約62.2%)
屋外のうち 1位：道路 (約43.1%)

2) 夜や睡眠中にも熱中症の危険。

熱中症対策を知ろう・体験しよう

記者発表資料 (2023年7月12日)
環境局環境企画課

神戸市環境局の熱中症対策は常設の設備とされており、国・自治体協力・連携し対応を行っています。この機会、本市は環境局が熱中症対策モデル事業として、体験型イベント、クーリングシェルター・クーリングスポットの試行を実施します。

日傘体験イベント

環境局を利用しない方もターゲットに日傘の体験型イベントを実施します。アンケートにお答えいただいた方には防災備蓄品を頒布してあります。
場所：東灘区役所 (フォーマーズ・マーケット会場内近辺)
日時：2023年7月22日 (土曜)、23日 (日曜)、29日 (土曜)、30日 (日曜) (雨天中止)
時間：10時30分から13時30時まで
その他：参加費・申し込み不要



クーリングシェルターの試行

公共施設である市役所1号館を無料開放施設 (クーリングシェルター) として活用できるかを試行いたします。アンケート等により今後の導入に向けた課題を整理します。
場所：神戸市役所1号館1階
日時：2023年7月22日 (土曜)、23日 (日曜)、29日 (土曜)、30日 (日曜)
時間：10時から13時まで

熱中症対策特集WEBサイトによる発信

熱中症対策特集WEBサイト「神戸ひんやりアクションスマートガイド」をスタートし、市内の公園、熱中症対策スポットの活用案内等の発信を実施します。活用案内がある公園やサテライト会場をのびります。

神戸ひんやりアクションスマートガイド
<https://city.kobe.lg.jp/cooling/>



屋外公共空間での異常高温対策に今夏も取り組んでいます！

記者発表資料 (2023年7月12日)
建設局都市整備課

近年「これまで経験したことのないような」異常高温が発生し続けています。今夏も酷暑明けとともに季節的な暑さが到来し、熱中症のリスクが高まります。このため、今年も人々が集まる駅前広場などの屋外公共空間において、異常高温対策の取り組みを強化して実施します。

1. 2023年夏季対策

(1) 三宮周辺

駅名 (駅番)	対策箇所、主要対策
三宮駅 (1001)	三宮駅前、三宮駅周辺、三宮駅南口、三宮駅北口、三宮駅西口、三宮駅東口、三宮駅南口、三宮駅北口、三宮駅西口、三宮駅東口
三宮駅西口 (1002)	三宮駅西口、三宮駅西口、三宮駅西口、三宮駅西口
三宮駅東口 (1003)	三宮駅東口、三宮駅東口、三宮駅東口、三宮駅東口
三宮駅南口 (1004)	三宮駅南口、三宮駅南口、三宮駅南口、三宮駅南口
三宮駅北口 (1005)	三宮駅北口、三宮駅北口、三宮駅北口、三宮駅北口

(2) 郊外

駅名 (駅番)	対策箇所、主要対策
三宮駅西口 (1002)	三宮駅西口、三宮駅西口、三宮駅西口、三宮駅西口
三宮駅東口 (1003)	三宮駅東口、三宮駅東口、三宮駅東口、三宮駅東口
三宮駅南口 (1004)	三宮駅南口、三宮駅南口、三宮駅南口、三宮駅南口
三宮駅北口 (1005)	三宮駅北口、三宮駅北口、三宮駅北口、三宮駅北口

※対策箇所 (1001)～(1005)は神戸市営地下鉄三宮駅周辺に設置されている。この表はあくまで参考として利用します。
※対策箇所は、状況に応じて変更される場合があります。
※対策箇所は、状況に応じて変更される場合があります。

2. スマートこうベークルスポット

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目3)庁内における横断的連絡体制の整備に関すること

■横断的連絡体制の整備（環境局）

- ・新型コロナウイルス対策とともに過ごす夏の『熱中症予防』神戸市熱中症予防対応指針を策定済み。健康局を中心に市民啓発等を実施した。
- ・熱中症対策に関連する部局（以下参照）や事業が多いことから、環境局において、庁内で運用されているビジネスチャット「ChatLuck PC 版」を活用し、本事業に関わる全ての部局の課長級・係長級・担当者の職員をメンバーとし、常に横断的連絡が取れる体制を構築した。
- ・この場において情報共有や簡易な意思決定を行ったが、重要及び迅速な意思決定が必要な場合等には上記メンバーから必要な職員を選出し、対面での会議も開催した。

（参考）関係部局について

①環境局

- ・気候変動適応法に基づき、神戸市域における地域気候変動適応計画を策定済。令和5年度に適応策の一環として暑熱対策ポータルサイトを構築し、熱中症対策を含めた包括的な情報発信を実施。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目3)庁内における横断的連絡体制の整備に関すること

②健康局

- ・市民に対し、熱中症予防に関する啓発を実施。

③福祉局

- ・特に高齢者等に対し、健康局と連携して熱中症予防に関する啓発・対策を実施。

④こども家庭局、教育委員会事務局

- ・こどもや保護者に対する熱中症予防に関する啓発・対策を実施。

⑤消防局

- ・熱中症に関する救急搬送及び搬送者等の関連データの収集・関係者への共有。

⑥危機管理室

- ・神戸市防災気象官（気象防災アドバイザー）による助言、市民等への研修講師派遣。

⑦建設局

- ・道路や公園等のクールスポット（緑陰・日除け、ミスト等）、道路散水。
- ・産官学連携による新技術の研究開発。

⑧企画調整局、都市局

- ・スーパーコンピュータや小型気象計等を活用した暑熱環境シミュレーションを実施。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目4)「クーリングシェルの指定・開放」及び「熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等との協働」について
実行可能性を検討すること

※＜選択項目＞で（５）及び（６）を選択しているため、記載なし。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5) クーリングシェルトアの指定・開放に向けての試行に関すること

■ クーリングシェルトアの試行実施（環境局・健康局）

・神戸市の市街地である三宮エリアにおいて、公共施設である市役所本庁舎をクーリングシェルトアとして活用できるかを試行的に実施。

スタッフ等が常駐するクーリングシェルトアとしては全4回実施

（市役所本庁舎をクーリングシェルトアとして、利用に係るアンケートやヒアリングを実施）

実施日時 日程：2023年7月21・22日、8月4・5日（各金/土曜日）の計4日間
時間：10時00分～15時00分

実施場所 神戸市役所1号館1階 市民ロビー
（神戸市中央区加納町6丁目5-1）

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5) クーリングシェルトーの指定・開放に向けての試行に関すること

■ クーリングシェルトーの試行実施（環境局・健康局）

利用者・アンケート回収数 （実施4回合計）

利用者数（人）	アンケート回収数（枚）
461	225

実施当日写真



【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5) クーリングシェルトの指定・開放に向けての試行に関すること

■ クーリングシェルトの試行実施（環境局・健康局）

会場装飾

自立 立看板
(w900×h1800)



配布ちらし

表面:日傘体験
裏面:クーリング
シェルト広報



熱中症対策
啓発ちらし



【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目5) クーリングシェルトアの指定・開放に向けての試行に関すること

- ・ 無人でのクーリングシェルトアの開放についても検討。市民のニーズも含め、座って休むスペースの確保、空き状況の情報発信、開放期間等についての課題を集約。
- ・ また、民間施設における活用については、事業者へのヒアリングを行い、協力体制や行政からの支援方法等を検討した。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(選択項目6) 熱中症対策に関連して地域で活動する団体や企業等と協働した高齢者等への見守り、声かけ活動等の実施に関すること

■ 様々な啓発媒体の展開（健康局）

・「（２）高齢者を対象とした熱中症予防行動の効果的な情報発信に関すること」に記載している組織や施設以外にも、地域で活動する団体や企業と連携して熱中症対策を進めることができるか検討した。

- 今年度は協力団体等と次の取り組みを実施
 - ◆ 民生委員や婦人会等の協力を得てちらし配布。婦人会総会で周知実施。
 - ◆ あんしんすこやかセンターや区役所が高齢者を訪問する際に、日本気象協会から提供された「熱中症ゼロへ 2023」の啓発物品（ゼリー飲料・冷タオル・塩分タブレット）を配布し、熱中症対策について個別に呼びかけ。
 - ◆ 71 歳以上対象の「転倒リスクチェック」等のイベントで啓発物品の配布。
 - ◆ 乳幼児健診の案内に、熱中症警戒アラートについても掲載している熱中症予防ちらしの同封等や、保育所・保育園、公立幼稚園へこども家庭局より通知を実施。
- 今後、民間企業（健康創造都市KOB E 参画企業など）とも連携を検討していく予定。

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目)

■ 日傘の活用促進（環境局）

- ・ 近畿地方環境事務所が策定している「暑熱対策分科会広域アクションプラン」において、自治体が連携して行う広域適応アクションの1つに、日射の暴露対策として「日傘の活用促進」が挙げられている。
- ・ 本市においては、普段日傘を利用したことがない市民をターゲットに市内のイベントにブース等を出展し、日傘の体験型イベントを実施。
- ・ これらの取組の中で、日傘の利用促進に係るアンケートやヒアリングを行い、今後の日傘の普及に向けた検討も実施。
- ・ さらに、地域団体等と連携して、サステナブルな日傘づくり体験を通して、熱中症防止だけでなく環境問題に対する意識を高める啓発を実施。
- ・ 新技術を活用した日傘やテント等の体験も実施。

【日傘体験イベント開催】

実施日時

日程：2023年7月15・22・29日、8月5日（各土曜日）の計4日間
時間：9時30分～12時30分

実施場所

東遊園地（神戸市内の農産物等を販売するファーマーズマーケットの催事会場近く）
（神戸市中央区加納町6丁目4）

【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目)

■ 日傘の活用促進（環境局）

日傘体験イベント参加・アンケート回収数 （実施4回合計）

参加人数（人）	アンケート回収数（枚）
216	216

実施当日写真



【神戸市】 3. モデル事業の取組内容

(必須項目・選択項目以外で、モデル事業として試行・実施したい項目)

■ 日傘の活用促進 (環境局)

会場装飾

自立 立看板
(w900×h1800)



日傘体験イベントとクーリングシェルター試行の同時開催時に設置。

配布ちらし

表面:日傘体験
裏面:クーリング
シェルター広報

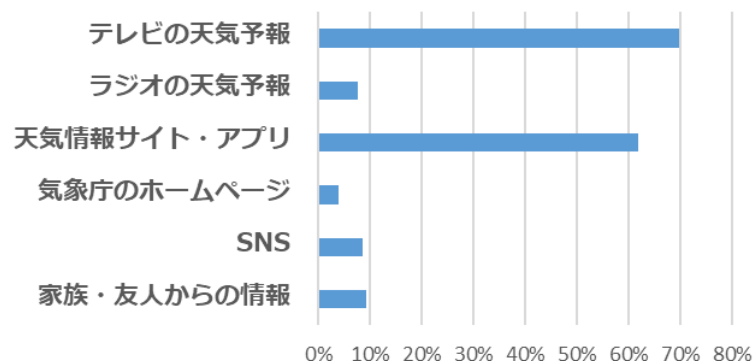


【神戸市】 4. モデル事業まとめ

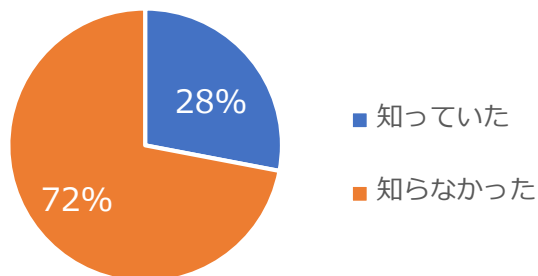
事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【クーリングシェルター試行アンケート結果】

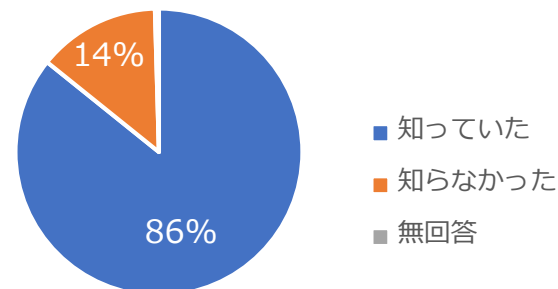
暑さがきびしくなりそうなときに、どのような情報を参考にしますか。



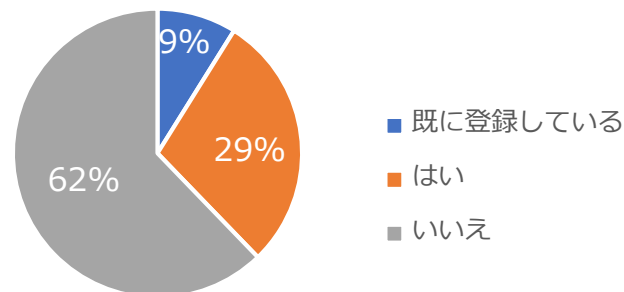
利用登録すると環境省・気象庁が発表する熱中症警戒アラートの情報をメールで配信するサービスがあることをご存じでしたか。



熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に「熱中症警戒アラート」が発表されますが、「熱中症警戒アラート」をご存じでしたか。



熱中症警戒アラートのメール配信サービスに登録したいと思いますか。

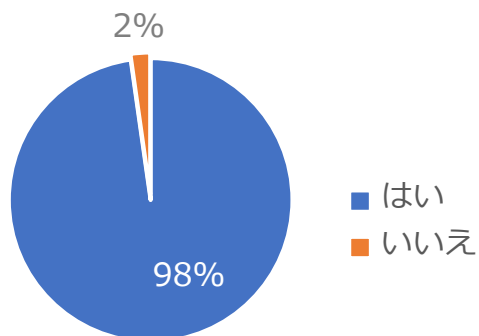


【神戸市】 4. モデル事業まとめ

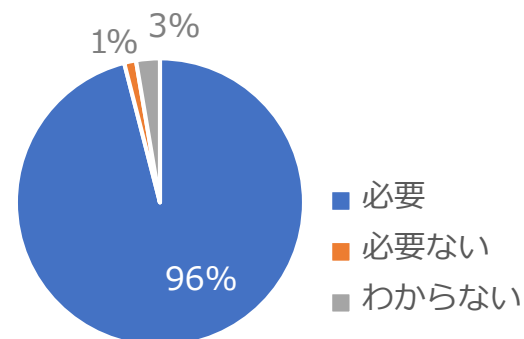
事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【クーリングシェルター試行アンケート結果】

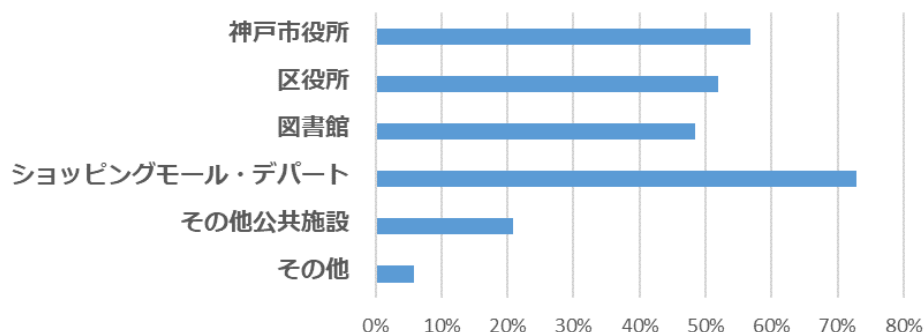
今後、極端に暑い日（熱中症特別警戒情報発表時）に暑さから逃れるための避難所（冷房の効いた部屋で休める等）のような施設が無料で開放されれば利用してみたいですか。



これまでにない高温（熱波）が生じた場合に備えて、高齢者など熱中症リスクの高い人を守るためにも、クーリングシェルターが身近に必要なだと思いますか。



どのような施設がクーリングシェルターになれば、利用しますか。具体的な施設があれば併せてご記入ください。



その他（自由記載）

- ・スーパー
- ・駅
- ・ドラッグストア
- ・地域福祉センター など

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【クーリングシェルター アンケート結果】

- 「暑さがきびしくなりそうなときに、どのような情報を参考にしますか」の設問には「テレビの天気予報」（70%）、「天気情報サイト・アプリ」（62%）という回答が上位となった。回答を年代別に見ると、20代～50代では、テレビの天気予報よりも「天気情報サイト・アプリ」を利用する回答者が多く、60代～70代では、天気情報サイト・アプリよりも「テレビの天気予報」を利用する回答者が多かった。
- 熱中症警戒アラートについては、「知っている」という回答が86%を占め、認知度が高いことがわかった。
- 一方、熱中症警戒アラートの情報をメールで配信するサービスについては、「知らなかった」という回答が72%、「熱中症警戒アラートのメール配信サービスに登録したいと思いますか」という設問には、「いいえ」という回答が62%となっており、テレビの天気予報や、天気情報サイト・アプリ等によって、熱中症警戒アラート情報を収集しているものと考えられる。

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【クーリングシェルター アンケート結果】

- クーリングシェルターに関しては、「今後、クーリングシェルターが無料で開放されれば利用してみたい」という回答が98%、「これまでにない高温（熱波）が生じた場合に備えて、高齢者など熱中症リスクの高い人を守るためにも、クーリングシェルターが身近に必要だと思いますか。」という設問に「必要」という回答が96%を占め、クーリングシェルターの需要があることが分かった。
- 「どのような施設がクーリングシェルターになれば、利用しますか」の質問には、「ショッピングモール・デパート」（73%）の回答が最も多くなり、次いで、神戸市役所（57%）、区役所（52%）、図書館（48%）という回答が多かった。具体的な施設の自由記載では、スーパー、駅、・ドラックストア、地域福祉センター等、身近な施設を挙げている回答が多かった。
- 今回のアンケートでは、クーリングシェルターについては「知らなかった」という回答が74%を占めたため、今後、本格的にクーリングシェルターを準備していくためには、熱中症予防の啓発と併せて、クーリングシェルターについての広報を十分に実施していく必要があると考えられる。

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【クーリングシェルターに係る課題、今後の対応】

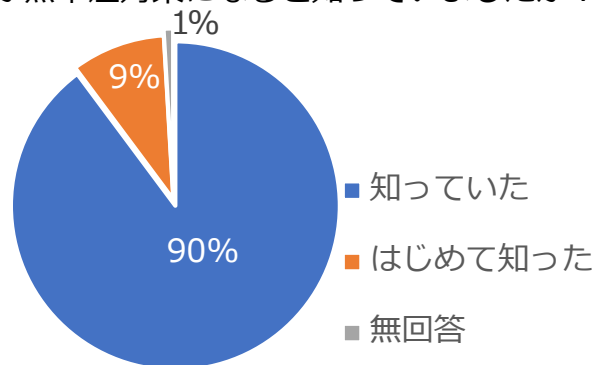
- 熱中症警戒アラートの認知度は高く、今後「熱中症特別警戒情報」の発表がある場合においても、テレビ・WEBにより情報を得る市民が多いと考えられるが、市から熱中症特別警戒情報の市民等への伝達に関し、防災メールの活用等について関係部署と更に調整する必要がある。
- アンケート結果から市民に身近な施設（ショッピングモール等）で涼めることを望む回答も多くあり、「熱中症特別警戒情報」発表時以外においても、熱中症対策のために気軽に立ち寄れる「涼み処」も有効であると考えられる。
- 指定暑熱避難施設と涼み処との違いについて市民理解を更に促進する必要がある。また今後の国からの詳細な情報等を参考にして、涼み処との比較のなかでも指定暑熱避難施設に必要とされる要件（開放日時、場所、設備等）の整理が必要である。
- 民間施設における活用については、事業者へのヒアリングを行ったが、指定に係る義務（開放日時や利用者への対応方法等）について、不安を感じる事業者もあった。
- 「クーリングシェルター」、「涼み処」の情報については、WEBを中心として情報発信していくこととなる。今回の作成した暑熱対策WEBページを更新するか、新たなページを作成するのかは未定であるが、伝わりやすいデザインで、広く周知する必要がある。

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

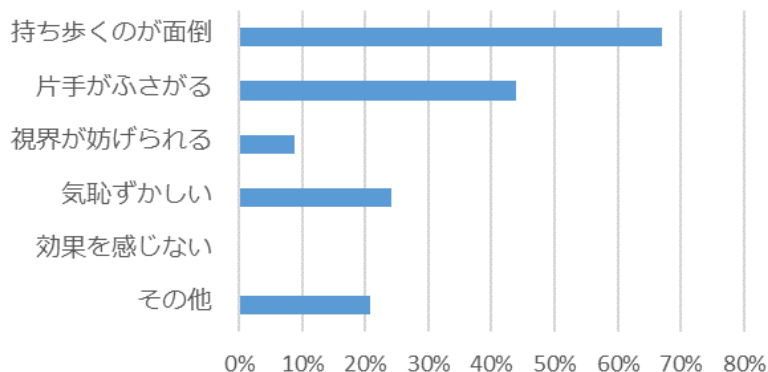
事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【日傘体験イベントアンケート結果】

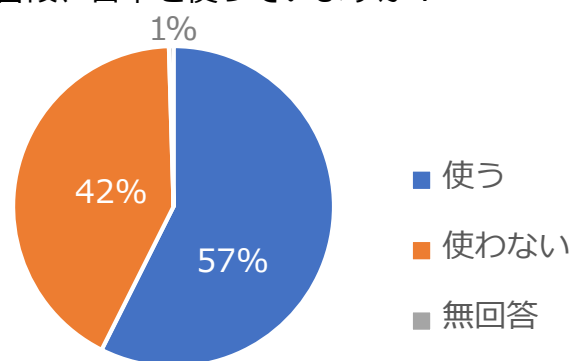
日傘が熱中症対策になると知っていましたか？



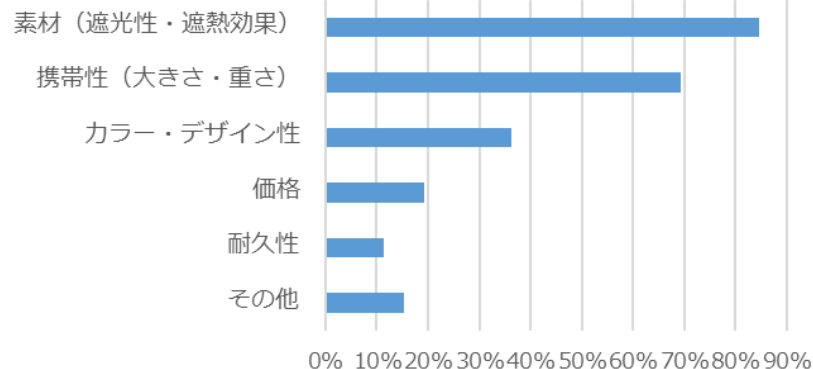
普段、日傘を「使わない」と回答した方
その理由を教えてください。



普段、日傘を使っていますか？



普段、日傘を「使う」と回答した方
どんなところにこだわって日傘を使っていますか？

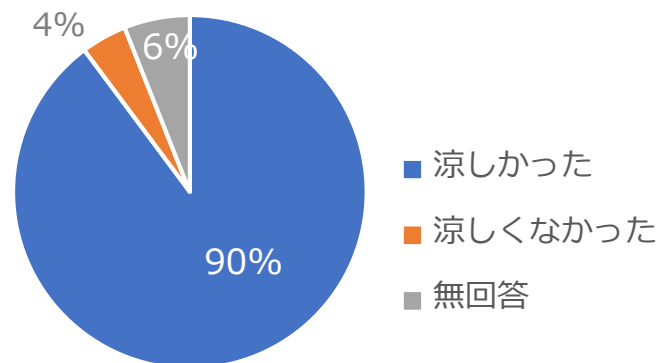


【神戸市】 4. モデル事業まとめ

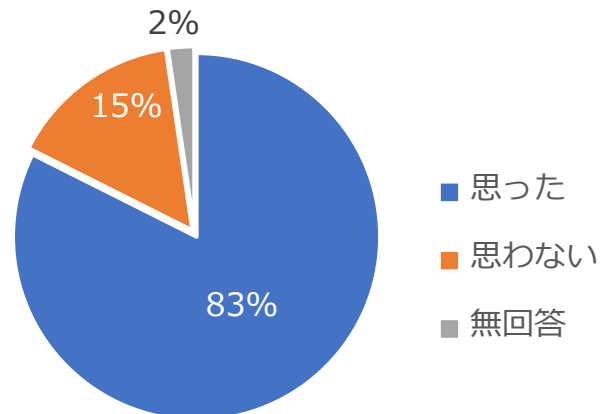
事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【日傘体験イベントアンケート結果】

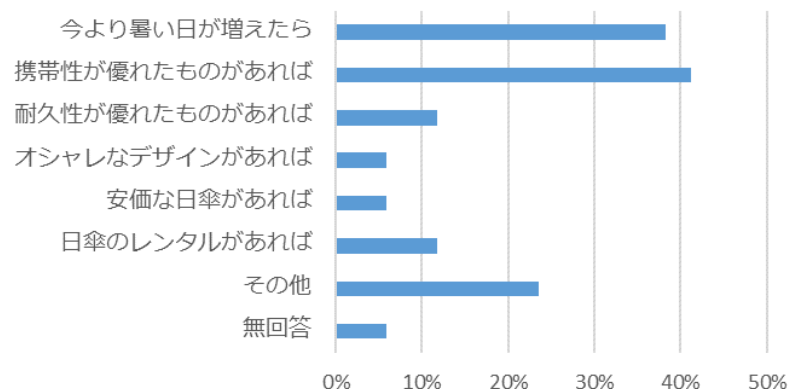
日傘を使ってみた感想 涼しさについて



今後、日傘を使いたいと思いますか？



今後、日傘を「使わない」と回答した方
どうなれば日傘を使ってみようと思いますか？



その他（自由記述）

- ・ 周りで日傘の使用が日常的にあれば
- ・ 周りの男性が使い始めたら
- ・ 晴雨兼用があれば
- ・ 片手がふさがらなければ
- ・ 帽子より機能が優れていることがわかれば

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【日傘体験イベントアンケート結果】

- 「日傘が熱中症対策になると知っている」という回答は90%であったが、普段日傘を「使っている」という回答は57%であった。
- 普段日傘を使わない理由としては、「持ち歩くのが面倒」「片手がふさがる」といった携帯性に係る回答が各67%と44%で上位となったが、次いで「気恥ずかしい」という回答が24%を占めた。
- 日傘体験イベントでは、軽量の日傘、親子用お揃いデザイン、ファン付き、遮光性の高いもの、放射冷却を活用した素材の日傘等を用意した。日傘を使ってみた感想としては「涼しかった」という回答が90%となり、今後、日傘を「使いたいと思う」という回答が83%となった。
- 普段日傘を使わないという理由として、「人にあたる」や「何度も危ない思いをしている」等の回答もあった。

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【日傘体験イベントアンケート結果】

- 日傘体験後、「今後、日傘を使いたいと思わなかった」という回答者に対する「どうなれば日傘を使ってみようと思いますか」の設問では、「今より暑い日が増えたら（38%）」、「携帯性が優れたものがあれば」（41%）という回答が上位となった。
- 日傘のデザインとしては、柄では「無地（69%）」、色では「黒・紺・グレー（60%）」を良いとする回答が上位となった一方、「神戸らしい」デザインを求める声も多くあった。
- 今回のイベントに参加された方からは、「実際に手に触れる形で実施してもらえるとわかりやすい」、「神戸ならではの日傘を取り扱っている店舗が知りたい。あれば買って使う。」という声もあった。

【神戸市】 4. モデル事業まとめ

事業を通して出た成果・新たな課題・今後の対応方針等

【日傘体験イベントに係る課題、今後の対応】

- アンケート結果より、普段日傘を使わないという理由として、「持ち歩くのが面倒」「片手がふさがる」といった携帯性に関する理由が多く、次いで「気恥ずかしい」という日傘利用への心理的なハードルがあることが明らかになった。「人にあたる」や「何度も危ない思いをしている」等の回答もあったため、「傘」という物自体に対しての懸念もあると考えられる。
- アンケート結果では、「神戸らしい」デザインを求める声も多くあったため、“お気に入り”の一本が見つかれば、日傘を携帯する可能性も広がるのではないかと考えられる。
- 日傘体験イベントに参加された方からは、「実際に手に触れる形で実施してもらえるとわかりやすい」、「神戸ならではの日傘を取り扱っている店舗が知りたい。あれば買って使う。」という声もあり、熱中症対策グッズを取り扱っている店舗のPRやイベント実施も、熱中症啓発の手法の一つとして有効と考えられる。
- 日傘と帽子を合わせて啓発することで、より効果的な熱中症対策となると考えられる。

【神戸市】 5. 独自予算での熱中症対策の取組

(1)取組状況の概要

- 屋外クールスポットの設置（建設局・都市局・港湾局・交通局）
 - ・ミスト等の設置、都心エリアの道路散水
 - ・高専・企業が開発したクールベンチの設置
 - ・クールスポットマップの公開
- 様々な啓発媒体の展開（健康局）
 - ・チラシ・ポスター作成、各所で配布・掲示
 - ・企業等と連携し、熱中症予防啓発の実施
 - ・鉄道駅のデジタルサイネージで熱中症予防の啓発
 - ・市営交通機関の中吊り広告で熱中症予防の啓発
- 暑熱環境シミュレーション（企画調整局・都市局）
 - ・スーパーコンピュータ「富岳」を用いて、都心三宮など市内複数エリアにおける暑熱環境の現況把握・将来予測や、暑熱対策を実施した場合の効果予測を実施
 - ・都心三宮周辺に小型気象計を設置し、風や気温等の現況データをシミュレーションに反映させる。
 - ・小型気象計で得られた現況データを用いた情報発信の検討を進める。

【神戸市】 5. 独自予算での熱中症対策の取組

(1)取組状況の概要

- 大学等と連携したクーレストルートの提供（建設局）
 - ・ 大学等連携で、都心エリアの暑さ指数を空間分布予測
 - ・ 暑さを避けるルート案内を研究開発

【神戸市】 6. 年間スケジュール

令和5年度	実施内容（概要）
4月	・啓発イベントの実施内容等調整 ・公共施設におけるクーリングシェルトの実施内容や体制の調整 ・暑熱対策ポータルサイトの構築・民間アプリとの連携調整
5月	・啓発イベントの実施内容等調整 ・公共施設におけるクーリングシェルトの実施内容や体制の調整 ・暑熱対策ポータルサイトの構築・民間アプリとの連携調整 ・その他熱中症予防に関する啓発媒体の展開
6月	・啓発イベントの実施内容等調整 ・公共施設におけるクーリングシェルトの実施内容や体制の調整 ・暑熱対策ポータルサイトの構築・民間アプリとの連携調整 ・その他熱中症予防に関する啓発媒体の展開
7月	・公共施設におけるクーリングシェルトの試行 ・啓発イベントの実施 ・熱中症予防に関する広報・啓発媒体の展開
8月	・公共施設におけるクーリングシェルトの試行 ・啓発イベントの実施 ・熱中症予防に関する広報・啓発媒体の展開
9月	・熱中症予防に関する広報・啓発媒体の展開 ・事業実施結果の整理・総括
10月	・事業実施結果の整理・総括 ・中間報告書提出
11月	・事業実施結果の整理・総括
12月	・事業実施結果の整理・総括 ・最終報告書提出